

除害施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
除害施設番号及び名称	グリーストラップ	
型 式	〇〇社製 □□-□型	
構 造	強化プラスチック製	
主 要 寸 法	〇m×〇m×〇m (〇槽式)	
能 力	許容流入量 〇ℓ /分 (選定根拠：流量計算書)	
配 置	別紙配置図参照	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和 〇年 △月 △日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和 〇年 □月 □日	年 月 日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・案内図 (事業所の地図) ・配置平面図 (除害施設) 	

備考 配置の欄には、当該除害施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
「設置年月日」の欄には、法第12条の3第1項及び法第12条の7に基づく、特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、届出者の本欄への記載は不要です。

除 害 施 設 の 使 用 の 方 法

工場又は事業場における施設番号	No.1				
除害施設番号及び名称	グリーストラップ		名称：例) グリーストラップ、オイルトラップ等		
設置場所	別紙配置図参照				
操業の系統	別添 [□] 生産工程系統図参照		製造業の場合に記入。 例) もち米→粉碎→粉末→加熱形成→菓子 *レストラン、ガソリンスタンドは操業の系統は不要		
使用時間間隔	9時～21時				
1日当たりの使用時間	12時間/日				
使用の季節的変動	なし				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	なし		除害施設に関して薬品等を使用する場合、 1日当たりの用途別使用量（中和剤、凝集、沈殿等）を記入		
汚水等の汚染状態	種類・項目（単位）	通常	最大	通常	最大
	PH	6～8	6～8		
	BOD	800	800	業種によって関連する項目の汚水の汚染状況について記入 事業場の特性からして明らかに排除されない物質は未記入で差支えなし	
	SS	800	800		
	n-ヘキサン抽出 動植物油脂類	40	40		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	3.0	3.3			
その他参考となるべき事項	・主要製品及び生産量 お惣菜 約〇〇kg / 日		主要製品及び生産量についての概略を記載 例1 レストラン、食堂等の場合→約100食/日 例2 ガソリンスタンド等の場合→約30台/日		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No.1								
処理施設の設置場所	別添△配置図参照								
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	令和 ○年 ○月 ○日				年 月 日				
工事完成予定年月日	令和 ○年 △月 △日				年 月 日				
使用開始予定年月日	令和 ○年 □月 □日				年 月 日				
種類及び型式	別図○参照								
構造	別図○参照								
主要寸法	別図○参照				処理能力 水量 ○m ³ /日, △m ³ /時間 等の処理能力				
能力	別図○参照 (選定根拠: 流量計算)								
処理の方式	比重差分離方式				比重差分離方式、凝集沈殿方式、中和方式等の処理方法の種類を記入				
処理の系統									
集水及び導水の方法	塩ビ配管による自然流下				集水及び処理施設までの導水方法を記入				
使用時間間隔	9時～24時				連続, 10時～20時 等と記入				
1日当たりの使用時間	15時間/日								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	なし				汚水等の処理に用いる薬品があれば、その用途別の使用量 (中和用: 苛性ソーダ ○kg/日、凝集用: 高分子凝集剤 ○kg/日) を記入。 オムトラップ、グリーストラップ は記入不要				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目 (単位)	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	PH	6～8	6～8	6～8	6～8				
	BOD	800	300	800	300	汚水量は、別紙2との整合に留意			
	SS	800	300	800	300				
	n-ヘキサン抽出 動植物油脂類	40	20	40	20				
量 (m ³ /日)	3.0	3.0	3.3	3.3					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	産業廃棄物処理業者に処分委託 ○○(株) Tel 12-3456				残さの種類: (例) 含油汚泥 1.2t/月				
排出水の排出方法	排水口 ⇒ 公共下水道								
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除害施設の仕様書 (カタログ参照) ・ グリーストラップの容量計算書 								

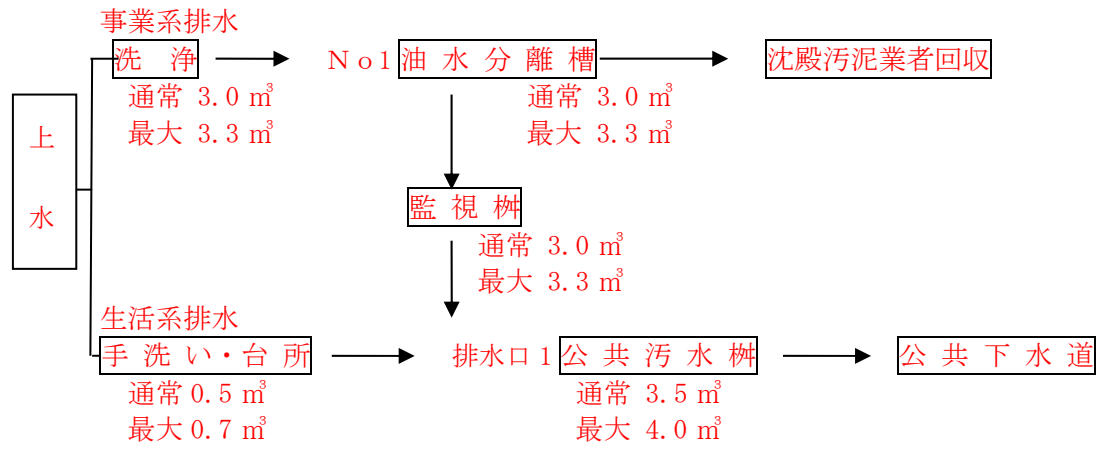
- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載してください。

下水の量及び水質

工場又は事業場における施設番号 (排水口の名称)		排水口 1		排水口が複数ある場合は、排水口 1、 2、3・・・のように欄を分けて記入	
排水水の汚染状態	種類・項目 (単位)	通 常	最 大	通 常	最 大
		PH	6~8	6~8	
	BOD	300	300		
	SS	300	300		
	n-ヘキサン抽出 動植物油脂類	20	20		
	排水水の量 (m ³ / 日)	通 常	最 大	通 常	最 大
		3.5	4.0		
	その他参考となるべき事項	・敷地内における排水経路及び排水口の位置図			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該事業場の排水水に係る排出基準に定められた事項について記載してください。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	<p style="color: red; margin: 0;">【 操業の系統図 】</p> <p style="margin: 5px 0;">もち米 ⇒ 粉碎 ⇒ 粉末 ⇒ 加熱フライ ⇒ 菓子</p> <p style="color: red; margin: 10px 0;">【 排水処理系統図 】</p> 																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">用 途</th> <th style="width: 30%;">使 用 水</th> <th style="width: 40%;">用水使用量 (m³/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">事業用</td> <td style="text-align: center;">水道水</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生活用</td> <td style="text-align: center;">水道水</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">総合計</td> <td style="text-align: center;">3.5</td> </tr> </tbody> </table>			用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)	事業用	水道水	3.0	生活用	水道水	0.5													合 計	総合計
用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)																								
事業用	水道水	3.0																								
生活用	水道水	0.5																								
合 計	総合計	3.5																								